

## 2023年 3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名	アビックス株式会社	上場取引所	東
コード番号	7836	URL	http://www.avix.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)廣田 武仁	
問合せ先責任者	(役職名)取締役副社長	(氏名)桐原 威憲	(TEL)045-670-7720
四半期報告書提出予定日	2022年8月12日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	430	19.3	△33	—	△70	—	△72	—	△83	—
2022年3月期第1四半期	360	53.2	44	261.4	37	651.9	35	628.6	26	375.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △78百万円 ( —%) 2022年3月期第1四半期 26百万円 ( 436.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.37	—
2022年3月期第1四半期	1.05	1.05

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,366	1,402	59.0
2022年3月期	2,474	1,481	59.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,396百万円 2022年3月期 1,477百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前年増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,800	55.8	170	604.0	20	—	16	—	10	—		0.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	35,129,566株	2022年3月期	35,129,566株
② 期末自己株式数	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	35,129,566株	2022年3月期1Q	25,293,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和等により、個人消費や設備投資が持ち直すなど、回復基調となりました。一方でウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や、日米の金利差拡大による急激な円安、足下の新型コロナウイルス感染症再拡大など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは感染リスクの低減を確保しつつ、「デジタルサイネージ業界No. 1」の達成に向けて積極的な拡大策を展開してまいりました。具体的には、当社グループの主要サービスである「MiRAi PORT」において、デジタルサイネージによる利用者の属性分析サービス「Ai Insight」の提供を本格的に開始いたしました。また、デジタルマーケティングにおける新たな取り組みとして、デジタルサイネージによるDX推進に関するウェビナーを開催するなど、顧客との接点を増やした確かなマーケティングの実現に注力いたしました。上記の取組みに加え、代理店との連携強化や総合演出力（デジタルサイネージ×照明×音楽×映像）を活かした新規マーケットの開拓等により、商談数や取組案件は増加しております。しかし、大型案件が下期偏重の傾向にあり当第1四半期の売上に寄与しなかったこと、急激な円安進行による仕入価格高騰が収益面を圧迫したことにより、営業損失となりました。

これらの結果、売上高430,377千円（前年同期比19.3%増）、営業損失70,717千円（前年同期は37,219千円の営業利益）、経常損失72,511千円（同35,588千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失83,102千円（同26,574千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。また、セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門は主にデジタルサイネージのリース、運営部門はデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門はデジタルサイネージの製造・販売を行っております。上述した拡大策の継続により、更なる案件獲得を目指してまいります。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は、売上高407,251千円（前年同期比20.2%増）、セグメント損失71,129千円（前年同期は36,207千円のセグメント利益）となりました。

#### ②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営している、Value creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画）制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。当事業はいわゆるサブスクリプションサービスが中心であり、今後も安定的な成長を目指してまいります。また、将来的に当社グループの基幹事業とするべく、今後も人員の増強等、積極的な投資を行ってまいります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高23,125千円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益412千円（前年同期比59.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、2,366,758千円（前連結会計年度末比107,329千円の減少）となりました。その主な要因は、売掛金が減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、964,012千円（前連結会計年度末比28,580千円の減少）となりました。その主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、1,402,745千円（前連結会計年度末比78,748千円の減少）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	874,674	747,361
受取手形	26,302	116,368
売掛金	487,015	158,821
商品及び製品	72,766	236,765
仕掛品	2,022	22,368
原材料	8,086	7,469
その他	101,107	168,550
貸倒引当金	△374	△199
流動資産合計	1,571,601	1,457,505
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	23,255	22,658
車両運搬具（純額）	1,071	982
工具、器具及び備品（純額）	34,909	38,629
レンタル資産（純額）	10,863	9,719
リース資産（純額）	37,958	34,165
有形固定資産合計	108,059	106,156
無形固定資産		
のれん	705,501	678,710
その他	26,810	26,925
無形固定資産合計	732,311	705,636
投資その他の資産	62,115	97,460
固定資産合計	902,486	909,253
資産合計	2,474,087	2,366,758
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	164,878	149,633
1年内返済予定の長期借入金	277,710	262,612
未払法人税等	12,246	7,728
賞与引当金	28,734	14,531
その他	125,821	208,291
流動負債合計	609,390	642,796
固定負債		
長期借入金	355,672	294,136
その他	27,530	27,079
固定負債合計	383,202	321,215
負債合計	992,593	964,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	617,740	617,740
利益剰余金	△348,057	△431,159
株主資本合計	1,477,246	1,394,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	746	1,872
その他の包括利益累計額合計	746	1,872
非支配株主持分	3,501	6,728
純資産合計	1,481,494	1,402,745
負債純資産合計	2,474,087	2,366,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	360,720	430,377
売上原価	198,571	267,187
売上総利益	162,148	163,189
販売費及び一般管理費	124,928	233,907
営業利益又は営業損失(△)	37,219	△70,717
営業外収益		
受取利息	0	300
その他	20	302
営業外収益合計	20	602
営業外費用		
支払利息	1,561	2,273
その他	89	123
営業外費用合計	1,651	2,397
経常利益又は経常損失(△)	35,588	△72,511
特別利益		
保険解約返戻金	14,597	-
特別利益合計	14,597	-
特別損失		
役員退職慰労金	23,355	-
特別損失合計	23,355	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,831	△72,511
法人税、住民税及び事業税	124	4,114
法人税等調整額	-	3,248
法人税等合計	124	7,362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,707	△79,874
非支配株主に帰属する四半期純利益	132	3,227
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26,574	△83,102

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,707	△79,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△217	1,125
その他の包括利益合計	△217	1,125
四半期包括利益	26,490	△78,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,357	△81,976
非支配株主に係る四半期包括利益	132	3,227

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	338,757	21,963	—	360,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,200	1,000	△2,200	—
計	339,957	22,963	△2,200	360,720
セグメント利益	36,207	1,011	—	37,219

(注) 1 セグメント売上高の調整額△2,200千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	407,251	23,125	—	430,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	840	—	△840	—
計	408,091	23,125	△840	430,377
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△71,129	412	—	△70,717

(注) 1 セグメント売上高の調整額△840千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。